

ビルメンテナンス業における高温・低温物との接触災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労働 者規 模
5	9～ 10	ビル清掃の現場で給湯室の清掃中、電気ポットが不安定に置かれていて倒れ、右足に熱湯を浴び火傷した。	67	100 ～ 299
6	15～ 16	清掃員控え室で、道具等の片付けを行っている時、熱湯の入ったポットをもう1名の清掃員と共同で捨てようとしたところ手を滑らせ、中に入っていた熱湯が足（主に太股）にかかってしまい、火傷を負ってしまった。	73	500 ～ 999
7	16～17	勤務内容は立体駐車場装置の操作及び車両誘導業務。夕方、当社へ本日勤務の被災者が倒れ救急車で病院へ運ばれたと連絡が来る。クリニックへ急行し状況を確認した所通行人の方が駐車場で倒れている被災者を発見しクリニックに連絡が入ったため、勤務していた医者と職員で院内に入れ対応していたら意識が戻った。病院にと申し入れがあったため救急車を手配したとの事。熱中症になり倒れたと思われる。	61	300 ～ 499
7	15～16	管理員業務における日常清掃（拭き・掃き掃除）実施中、9階の外部階段B踊り場にて、熱中症により意識を失い倒れた。掃除に出て戻ってこない事を不審に思ったもう1名の管理員が探し回り、意識不明で倒れているところを発見した。	66	50～ 99
7	8～9	マンション清掃中、管理室にて熱中症により意識を喪失し、医療機関に救急搬送された。強度の意識喪失状態の低下と、強度の泥状下痢により入院治療となった。	68	1000 ～ 9999
7	14～ 15	作業中、シンクに給湯器のお湯を出したとき、熱湯（約100℃）が右手にかかり火傷した。	63	300 ～ 499

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html